

とよなか

(部内資料)

教え子を再び戦場に送るな！ 2017年2月9日発行NO. 576

子ども達の豊かな成長・発達の力を合わせましょう！



まだ庄内の小中学校が統廃合され小中一貫校の計画があることを知らない

1時間余りで90筆近くの署名が集まりました。

全教豊中も加わる庄内地域小中学校統廃合を考える会は2月4日(土)統廃合計画の地元、庄内駅で宣伝を行いました。豊南市場等への買い物に来ていた方など駅前を通行する市民に庄内地域の学校統廃合ちよっとまっ

ちよっとまっって小中一貫校 庄内の小学校をなくさないで

い方もおられます。考える会では引き続き市民に宣伝を行っていきます。

昨年11月 市が新たな提案

昨年11月に市は新たに提案を行いました。

	平成29年度 (2017年度)	平成30年度 (2018年度)	平成31年度 (2019年度)	平成32年度 (2020年度)	平成33年度 (2021年度)	平成34年度 (2022年度)	平成35年度 (2023年度)	平成36年度 (2024年度)
北校	計画策定	基本設計	実施設計	建設工事	新校舎 (庄内小敷地)に移転 施設一体型小中一貫校として)			
北校 仮校舎	改修工事		野田小/十中敷地 (施設分離型小中一貫校として)					
南校			計画策定	基本設計	実施設計	建設工事	新校舎 (千成小敷地)に移転 施設一体型小中一貫校として)	
南校 仮校舎	改修工事		庄内南小/七中敷地 (施設分離型小中一貫校として)					

昨年2月に出された「分離型」「施設一体型」の2つの構想案は、11月には南校(千成小の場所)と北校(庄内小の場所)の施設一体型の一案に。

また、再編スケジュールも平成30年(2018年)度末に現在の学校を閉校とされていたスケジュールが北校を先行開校する案が示されました。(別表)

2月10日(金) 明日 第136回組合大会

場所：福祉会館
時刻：5時45分～

2017年度の新執行部を選出する大会です。各職場の状況を交流しましょう。



昨年2月以降の市の市民・住民説明会で多くの質問・疑問が出されています。また、南校の対象校である庄内西小学校校区では、地域の団体が小学校を望んでほしいと市に要望をあげるなど学校統廃合反対の声をあげています。全教は、小規模校のよさを生かした学校づくり・地域づくりをすすめる、小学校6校を存続させることを求めます。

市教委はアスベスト実態の把握とアスベストへの正しい知識の周知を

**知っていますか？
床タイルにアスベスト含有の可能性はあることを？**

学校の床面にたくさん使われているPタイル。はがれたり、割れたりしている学校施設があります。

この成形材のPタイルにもアスベストが含まれている可能性があります。対市交渉で、こうした事実を学校・教職員に周知

知することを求めました。

「含まれる可能性」（市教委）といいますが、学校施設の各部分材のアスベスト含有を把握すべきではないでしょうか。

Pタイルは吹付材のような飛散性はありませんが、危険性が0とは言いません。

豊中市が平成19年3月に出した「市有施設における吹付建材のアスベ

ト処理指針」では、成形板の管理について次のように書いています。

「取替えなど補修を行う際には、破壊又は切断を伴わない方法で、原則として「手ばらし」とする。撤去処分を行う場合は、散水を伴った湿式加工により行う」

●点検・保存管理の徹底

文科省は平成28年8月に「石綿保温材」調査の依頼を行い、11月に再調査依頼を行っています。

その中で、「アスベストに関する関係書類は、学校等の設置者が適切なアスベスト管理を行うために必要な資料であるため保存管理を徹底する」

さらに、「非飛散性アスベスト含有成形板等への対応について」では、

「通常の使用状態では、板状に固めた建材の危険性は低いと考えられるためアスベストを含有するボード類、床材等の非飛散性アスベスト含有成形板は調査対象外としているが、これらについてもその状態等について点検・維持管理をおこなう

こと。」としています。

●アスベストの周知

2014年11月の国会で「教職員に対しては、これらを踏まえ、教育委員会においてアスベストに関する

正しい知識の周知に取り組み、下村文科大臣（当時）が答弁しています。

市教委の姿勢が問われています。

「21世紀にふさわしい教育を」 「部落問題学習」を考えるQ&A

大阪教育文化センター「部落問題解決と教育」研究会

Q9 食肉や皮革の産業はどう考えればよいですか。

A9 部落問題と結びつけて扱うことは、誤解や偏見を育てます。

識させることになり、町で焼肉屋さんを見て「被差別部落」と関連させてイメージすることに、今食肉産業や皮革産業は部落問題とは関係ありません。偏見のない子どもたちに、昔は「偏見があつた」と教えたところで、偏見を学校が語り継ぐだけではないでしょうか。

校区にある産業を、子どもたちの発達段階に応じて学ぶことは意義あることです。町工場、サービスマン、農業、商業など地域に定着して取りあげます。

「生き物を食べている」というもつともらしい理由をあげている場合がありますが、それなら塩分以外、動物・植物すべて生き物を食べているわけで、牛肉にこだわらなければありません。

新成人に「おめでとう」の宣伝

全教豊中教組は1月9日の成人の日、新成人おめでとうと教職員組合から一言のメッセージを書いたティッシュを配りながら、宣伝をおこないました。毎年恒例のとりくみです。

今年も、完成した文化芸術センターが成人のつどいの会場で、曾根駅前でおこないました。今年も教え子とうれしい再会がありました。

